

生徒の安全をいかに守るかを熱心に語りあう出席者



根本 日光市ではスマートフォンで避難場所へ誘導するシステムがすでに稼働している。それから旅館協同組合が中心になって考えているのが水や食料品の確保水は3日分、ペットボトルにして2万本を用意している。われわれは、「絶対に体育館などに避難させるようなことはしない」というのが白言葉。行政が準備した避難場所ではなく、我々の民間施設で復旧するまで受け入れて、責任を持って、両親の元に帰すという強い信念だ。

ユニティが確立されていて、防災関連の連絡、安全確認などの体制がしっかりしている。藤澤 3・11の時に岩手県の田野畑村で高校生が体験活動をしてきたのだが、その時に陸中海岸の崖がどんと崩落していき、その落ちていく姿を見て、「これは津波が来る」との確かな判断をした人がいて、その高校生がうまく全員無事に逃げた。その後、逃げた場所の近くまで津波が来た。それを考えると、体験プログラムをやる人が安全体制、危機管理のことをしっかり理解して、危機管理が必要だ。まずそういった教育はしていかなければならない。



根本氏



直江氏

を必ず指示するように言っている。岩瀬 先ほどの職業体験の話もそうだが、皆さんがそれぞれの立場でいろいろ危機管理の対応策をとっている。非常に心強い。ぜひそれを自分たちの団体や会社、業界だけに留めず、皆さん共通のものにしてほしい。危機管理は、子どもたちの直接の安心、安全や命に関わることなので、おろかな気持ちで対応していただければありがたい。も一つ、避難所マップを旅行会社

根本 食中毒の原因は菌なので、社員の手洗いや健康管理が一番だ。そうやって防げる。だが、防げないのがノロウイルス。われわれが十分に注意していても、例えばノロウイルスを持った生徒が嘔吐し、その処理によって、まん延してしまうこともある。だから、先生たちには下見の時に「嘔吐をした時には絶対にそれに触らないでほしい」とお願いをしている。そして、旅館の食品、食材に関する問い合わせ処理

直接話をし、書面も交わす。地元医師にはエビデンスも用意して聞いている。そこまでやらないと、今は何かあるからならぬ。小林 私たちのところは基本的に泊して、1泊は宿、1泊はホームステイという形を取っています。なので、それぞれの宿の人に対応をお願いしているのだが、まずはしっかりしたアレルギー情報をいただく。私たちの事務局へ直接届き、その情報を宿や民泊先、昼食などの食事会場などに広げられる。

直江 われわれも特にアレルギーについての情報は、学校からもらうしか方法はない。アレルギーだけではなく、日帯から起きている心配ごとの個人情報をしっかりと入れることが重要だ。そして、正確な情報を宿泊施設と共有し、その内容をよく理解してもらったうえで、対処してもらおう。個人情報だから、個人情報の流れに沿って対処していくという基本動作の連続が最大のリスクを回避できるのではないかと。向田 重要なのは当日、先生と添乗員、旅館の方と3者でアレルギー対応ができていくかの最終確認と配膳の際に「この生徒の食事で間違いない」と確認をしない、あらゆることをして準備しても、一つ対応が漏れてしまったら、隣の生徒と間違ってしまったら何にもならない。最後は本当に人の手が重要になる。今年度から京都府と宿泊施設、旅行会社が連携してアレルギー対策「おこしやす京都」を始めたい。各旅行会社、各宿泊施設によってアレルギー対応が異なり、やり取りが煩雑に行われている。この解消、学校からのアレルギー対応者申請の統一フォーム、主要7品目除去により宿泊施設も対応が簡略化でき、結果的に安全、安心につながる。誤配食防止のために名札や印の表示について保護者から承諾も取る。これが全国に広がればいい。

三好 特にアレルギーの問題は命に直結するので、重要事項とらえている。事前の準備でしっかりと学校から情報を入手するということと、最後の目視にポイントを置いて

根本社長が言われた日光での取り組みには、われわれ近所も一部協力している。そういった先進の取り組みは、他の旅行会社と連携し、取り組みがまだ浅い地域の皆さんと協働していくことが重要だ。岩瀬 今はアレルギーの問題は非常に大きな問題で、学校全体として、また、社会全体として取り組むべき問題だ。修学旅行では事前の準備が大切で、アレルギーがある場合には書類をきちんと作る。中学校の場合は給食があるので学校にデータがあるから、その書類を入手すればまずきちんと準備できるはず。それからいっくらサービス業とはいっても、「そこまでできない」とはつきりと言ってもらった方がいい。なまじ「生懸命やる」というと本も保護者もその気になって、甘えてしまう部分が出てしまう。おそれる業種、一旅館では難しいだろうから、その辺は統一して、「そこまで責任は持たない」と言っておく。それが最終的には、本人にとっても一番いい方法だと思う。

場など関係する全てに流している。学校からの情報はあややなのものが非常に多く、「好き嫌い」のように思える情報もあった。根本社長の話を参考にさせていただき、これからは学校からしっかりと情報をいただくつもりだ。藤澤 食物アレルギー対策は、ちゃんとしたメニューでやっている旅館・ホテルと違って、民泊の場合は難しくない。出さなければいいのだから。例えば小麦がダメなら、野菜出しておけば大丈夫だし、田舎では避けられる食事はいろいろある。だから情報をしっかりとっていただくことも大事だ。食中毒の話では、都市部の若い人と、田舎のおじちゃんおばちゃんとは抵抗力が違ってくる。民

社も受け入れ団体も用意して、該当する学校には記述していただきたい。東京は避難所は地域住民のためだと明言している。では、修学旅行の子供たちが安心して避難できる場所はどこか、先ほど根本さんからの、絶対に公的な避難所にはやらない、責任を持って旅館を引き受けるという話は、大変うれしい話だ。――旅館では大量に食事を提供している。食中毒や食物アレルギー対策は非常に大きな問題だ。

修学旅行の危機管理を考える



向田氏

日光温泉旅館組合で注力 生徒の情報もしっかり把握 直江氏 京都の取り組みを全国に向田氏

をやる。このことについては何回も講習をやっている。それよりも一番怖いのは、アレルギーだ。われわれ日光温泉旅館協同組合としては、ものすごいパワーをかけてやっている。今、七つの特定原材料と特定原材料に準ずる20品目、計27品目については、アレルギー成分表を付けて、食材に何が含まれているかを全部出している。アレルギーをお願いして、どの程度のアレルギーなのかを書いてもらって、これを我がが「これは、こういうものを避ける食材に替わしましょう」と確認した上でそれを提供するようになっている。

アナフィキシーショックを持っている子もいる。支配人の領域ではなく、経営者が保護者として

泊で起こっているのは多くはカンピロバクター。カンピロバクターは鳥肉の生肉に多いのだが、地方では常日頃から鳥刺を食べている地域もある。だから、田舎のおじちゃん、おばちゃんには自分には何も起こらないからといって、生徒に出してはいけない、というように言っている。

向田 重要なのは当日、先生と添乗員、旅館の方と3者でアレルギー対応ができていくかの最終確認と配膳の際に「この生徒の食事で間違いない」と確認をしない、あらゆることをして準備しても、一つ対応が漏れてしまったら、隣の生徒と間違ってしまったら何にもならない。最後は本当に人の手が重要になる。今年度から京都府と宿泊施設、旅行会社が連携してアレルギー対策「おこしやす京都」を始めたい。各旅行会社、各宿泊施設によってアレルギー対応が異なり、やり取りが煩雑に行われている。この解消、学校からのアレルギー対応者申請の統一フォーム、主要7品目除去により宿泊施設も対応が簡略化でき、結果的に安全、安心につながる。誤配食防止のために名札や印の表示について保護者から承諾も取る。これが全国に広がればいい。

三好 特にアレルギーの問題は命に直結するので、重要事項とらえている。事前の準備でしっかりと学校から情報を入手するということと、最後の目視にポイントを置いて

根本社長が言われた日光での取り組みには、われわれ近所も一部協力している。そういった先進の取り組みは、他の旅行会社と連携し、取り組みがまだ浅い地域の皆さんと協働していくことが重要だ。岩瀬 今はアレルギーの問題は非常に大きな問題で、学校全体として、また、社会全体として取り組むべき問題だ。修学旅行では事前の準備が大切で、アレルギーがある場合には書類をきちんと作る。中学校の場合は給食があるので学校にデータがあるから、その書類を入手すればまずきちんと準備できるはず。それからいっくらサービス業とはいっても、「そこまでできない」とはつきりと言ってもらった方がいい。なまじ「生懸命やる」というと本も保護者もその気になって、甘えてしまう部分が出てしまう。おそれる業種、一旅館では難しいだろうから、その辺は統一して、「そこまで責任は持たない」と言っておく。それが最終的には、本人にとっても一番いい方法だと思う。

誘客促進の起爆剤!地元の魅力をPR!

あなたの街のハロートラベルつくりませんか

ハローキティと地域のゆるキャラをコラボさせキャラの活性化・育成支援も可能です。

- ハロートラベルの特徴
- ◆ハローキティの表紙で抜群のアイキャッチ効果! まず冊子を手に取ってもらうことが第一!
- ◆便利なポケットサイズ♪小さなバッグに入れても持ち運びできるので保存性も上がります。
- ◆効果的な配布ポイントで観光客を誘致します♪
- ◆見やすいカテゴリ別カタログとクーポンやスタンプラリーをつけることにより観光客周遊を促進!



利用観光客の声

- ◆キティちゃんの表紙が目飛び込んで思わず手に取ってしまいました。
- ◆コンパクトサイズで持ち運びもラクラク♪ちょうどいい大きさだと思います。
- ◆旅先でどこに行ったらいいか迷った時にたいへん参考になりました。クーポンが付いているのもお得で嬉しい。

各自治体様のご要望やコンセプトにより合わせ、メリットや効果のある媒体の構築と運用をご提供させていただきます。ご予算等もご相談に応じます。市町村・都道府県・広域観光圏まで対応致します。

